

平成30年度「新学術領域研究（研究領域提案型）」『学術研究支援基盤形成』中間評価
「プラットフォーム共通の検討事項」

○被支援者の満足度に関する調査の徹底と積極的な結果の公表を希望する。

○プラットフォームの有用性を示すためには、支援を受けた課題による成果（論文・特許等）を発信することが特に重要であり、引き続きそのための情報収集に注力すべきである。

○支援者として参加する支援者側にもインセンティブを与える必要があり、インセンティブのあり方等について検討が必要である。

○成果発信への工夫として、各プラットフォームの事業に英語の略称があるといいのではないか。